〈ご回答のお願い〉

SGJ会社設立15周年＜夏期特集号＞アンケート調査票

★このアンケートは、都市ガス事業者各位にお送りしております。

　　★各設問の回答形式（選択式／記述式）に従い、各欄にご記入下さい。

　　★各設問でコメント欄を用意しましたので、ご意見があればご記入下さい。

★ご回答方法はFAXかメールで　**7月27日(水)まで**にお願いします。

★Word様式での調査票をご希望の場合は、当社（seisaku@sekiyugasu-janaru.jp）までご連絡をお願いします。

★また、弊社ホームページからもダウンロード頂けます。

ご協力の程、宜しくお願い致します

石油ガス・ジャーナル　編集局

TEL.03-5157-8336

＝＝アンケート調査票＝＝

ご回答が難しい場合、空欄のままで構いません。可能な範囲でお答え下さい。

**〈経営環境について〉**

1. 都市ガス等主力事業の経営環境は現在、どのようなことが懸念されていますか

（複数回答可）

①カーボンニュートラルへの対応（　　　）

②事業収益の減少と新たな成長戦略（　　　）

③地域事業者として求められる対応力（　　　）

④過疎化や業務用等の需要減少（　　　）

⑤LNG価格の上昇と転嫁、事業環境悪化への対応（　　　）

⑥その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

2.克服すべき課題とは何でしょうか（複数可）

①カーボンニュートラルの着実な対応（　　　）

②多角化等による収益基盤の確立（　　　）

③地域自治体、企業・消費者との関係強化、SDGs等の推進、地域コミュニティでの存在感等向上（　　　）

④人材育成・企業連携・アウトソーシング等による事業基盤の再構築（　　　）

⑤その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**〈総合エネルギー事業〉**

3.電気事業について

⑴行っていますか（過去も含め）

①行っている（　　　）

②行っていない（　　　）

⑵前設問で①と回答された方に：お客さま件数と都市ガスとの重複率を教えてください

2022年3月末時点で

お客様数（　　　件）

都市ガスとの重複率（　　　　％）

⑶現状と事業性等（継続性、成長性）について教えてください

（a）現状について

①採算が取れない（　　　）

②採算はギリギリ（　　　）

③順調（　　　）

④その他（　　　）

（b）事業性と今後について

①厳しいので止めた（　　　）

②厳しいので事業廃止を含め検討中又は検討する（　　　）

③総合エネルギー、脱炭素対応からも必要なので厳しくても継続する（　　　）

④将来についてはまだ決めかねる（環境ブーム、電化、総合提案等で検討）（　　　）

⑤わからない。難しい問題（　　　）

⑥その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4.LPガス事業について

⑴行っていますか（過去も含め）

①行っている（　　　）

②行っていない（　　　）

⑵お客様件数は

　2022年3月末（　　　　　　　）件

⑶現状と事業性について

（a）現状について

①採算が取れない（　　　）

②採算はギリギリ（　　　）

1. 順調（　　　）
2. その他（　　　）

（b）事業性と今後について（複数可）

①厳しいので止めた（　　　）

②厳しいので事業廃止を含め検討中又は検討する（　　　）

③経営面、事業収益面から継続する（　　　）

④都市ガスに比べ長期的視点で事業性があると思う（　　　）

⑤商圏が拡大できるので良い（　　　）

⑥その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑷LPガス事業・LPガス業界の問題・課題とは（複数可）

　①同業他社との切替え等の競争激化（　　　）

　②新築、賃貸集合住宅等への過大な投資（　　　）

　③面的供給、質量販売ができないなど保安規制が旧態依然。支援策も少ない（　　　）

　④“電化”に対しての対応力の弱さ（　　　）

1. 自治体等との協力関係の弱さ（　　　）
2. コージェネ、エネファーム、GHP等普及面での低い価格競争力（　　　）

　⑦その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

5.再エネ電源事業への取組み

⑴太陽光等再エネ電源事業の実施状況

1. 行っている （　　　）
2. 今後行う予定（　　　）
3. やらない （　　　）

⑵前設問で①又は②と回答した理由について（複数可）

　①カーボンニュートラル、脱炭素政策への対応として（　　　）

　②太陽光設置事業だけでも収益性がある（　　　）

　③CN化、SDGs等を進める（　　　）

　④PPA、VPP等太陽光等電源の活用事業、将来の配電事業を見据えた取組みへ発展させる（　　　）

　⑤電化時代、総合エネルギー事業に不可欠なアイテム（　　　）

　⑥その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**〈生活サービス事業〉**

6.生活サービスとして重要なアイテム、事業モデルとは（複数可）

　①ガス機器・住設販売（　　　）

　②家電販売（　　　）

　③リフォーム事業（　　　）

　④住宅関連事業（　　　）

　⑤不動産関連事業（　　　）

⑥故障・犯罪等の対応・見守りサービス等事業（　　　）

　⑦修理・工事関係（　　　）

　⑧保険事業（　　　）

　⑨生活全般のソリューション事業（多様な困り事に対応可能な体制）（　　　）

　⑩その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

7.生活全般のソリューション事業の必要性について

⑴現在又は将来、必要ですか

1. 必要（　　　）　②不要（　　　）

⑵①と回答された方に：どのようにソリューションを実現するのか等事業モデルについて

　お答えください

1. 自社が中心となる形は難しい。地域事業者との連携の話があれば検討したい（　　　）
2. 自社の事業基盤・人材と地域の流通小売会社と連携する。自社グループが中心にならなくても良い（　　　）
3. 自社の事業基盤と人材育成を中心に一部アウトソーシングで対応する（　　　）
4. 自社グループの機能と共に地域の流通小売事業をカバーするプラットフォームを運営したい（　　　）
5. カーボンニュートラル、生活支援等自治体と協力する形でモデルを検討したい。プラットフォームと必要なアイテム等はその中で検討する（　　　）
6. その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**〈個別テーマについて〉**

8. SDGsについて

⑴実際に策定・公表済みですか

　①既にしている（　　　）

1. 今後行う（　　　）
2. していない、しない（　　　）

⑵その理由について

1. 地域事業者として必ず必要になる（　　　）
2. 商圏では特に必要とは感じない（　　　）
3. まだわからない（　　　）
4. その他　（　　　）

　（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

9.カーボンニュートラルへの対応（複数可）

⑴トランジッション／移行期について

　①低炭素のため、燃転と高効率機器の推進（　　　）

　②低炭素のため、太陽光等再エネ電源の普及（　　　）

　③総合エネルギーのソリューション事業の確立（　　　）

1. 総合エネルギーと住設・住宅の対応も含めたソリューション事業の確立（　　　）
2. その他（　　　）

⑵2050年に向けた合成メタン、水素等を利用する中で想定するビジネスモデルとは

　①総合エネルギー事業として関連設備・工事も請け負う事業モデルを構築したい（　　　）

　②総合エネルギーの専門というより、小売業を中心とする生活ソリューション事業への変化を選びたい（　　　）

　③総合エネルギー・総合生活サービスを目指し、基盤固めをしていきたい（　　　）

④予測がつかない部分もあり、この間CN化の中で多角的に投資を行い、収益性の高い地域事業を確立したい（　　　）

　⑤予測がつかない部分がまだ多い。事業の継続にも不安がある（　　　）

　⑥その他（　　　）

（コメント：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**＊最後に、ご意見がありましたらご記入下さい**

質問項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

**・Wordでの調査票をご希望の場合は上記メールまでご連絡をお願いします。弊社ホームページ（**[**http://www.sekiyugasu-janaru.jp/**](http://www.sekiyugasu-janaru.jp/)**）からもダウンロード頂けます。**

・ご回答用紙はお手数ですが、FAX（03-3581-5554）又はメール（sekiyugas.j@sekiyugasu-janaru.jp）で**7月27日（水）まで**にご返信下さいますようお願い致します。

・本件ご回答につきまして後日電話等で追加取材をさせて頂くことがあります。その際にもご協力の程

　お願い申し上げます。

‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐

　◆ご回答頂きました場合、関係記事を収録した本紙を郵送させて頂きます。

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名：  | 部署・お役職：  |
| ご芳名：  | Email： |
| 電　話： | FAX： |

ご協力頂きありがとうございました

送信先　石油ガス・ジャーナル株式会社 FAX.03-3581-5554

メールアドレス　sekiyugas.j@sekiyugasu-janaru.jp

ホームページ　<http://www.sekiyugasu-janaru.jp/>

ご協力頂いた皆様へ

　この度はご回答頂き、誠にありがとうございました。

　御礼としてご回答会社一覧の中で貴社名を掲載させて頂きます。勿論、個別回答での社名を明らかにするものではございません。

　今後の更なる貴社のご隆盛とガスエネルギー事業及び関係業界の発展を祈念致します。

石油ガス・ジャーナル編集部